

荒中だより

校訓 勤労 規律 礼儀

3月号

令和6年
3月1日(金)発行

紀の川市立荒川中学校 文責 椿本



いよいよ卒業式…

45名の3年生の皆さん、いよいよ卒業ですね。ご卒業、おめでとうございます。3年間の中学校生活、9年間の義務教育を無事終えられること、心からお祝い申し上げます。

初めて出会った入学式からはや3年・・・緊張の面持ちで荒川中学校に入学して来たのがつい最近のように感じられます。校長として皆さんと3年間の付き合いをさせてもらいました。入学当初の緊張感をもち、あどけなさのあったみんなの明るい笑顔、3年経った今、卒業を迎えるにあたって毎日元気にあいさつをしてくれる姿は本当に頼もしく成長を感じさせてくれています。皆さんと毎日会うことで元気を与えてもらった3年間でした。

この3年間は皆さんにとっては長かったですか、それとも短かったですか？今、振り返ってみると感慨深い思い出ばかりです。運動会が体育祭に代わったり、多くのゲストティーチャーを招いて話を聞かせてもらったり、ゆるキャラづくりに取り組んだことも・・・桃ジャムづくり・販売もありましたね。3年では初めて取り組み、開催した「あらフェス」は安楽川保育園、安楽川小学校、調月小学校も招いて、演劇・お化け屋敷は大盛況でした。また、残念ながら当日体調不良で参加できなかった人もいました。しかし、当日までの準備作業に携わったことは、皆さんが日頃の授業では学ぶことのできない多くのことを学ぶ機会になったと思います。本当に、いろんな体験をして、いろんな人から学んだ3年間だったと思います。

今年の卒業式は、4年ぶりに、在校生、来賓の皆さんにも参加してもらっての卒業式になります。在校生は、卒業生の皆さんに荒川中学校での思い出を深く刻んでもらえるよう毎日準備をしてきています。部活動でのお別れ会も始まります。後輩達に伝えたい言葉や気持ちを卒業していく先輩として言葉にして伝えてあげてください。



皆さんの卒業にあたり、先生が中学校を卒業する時に担任の先生が最後の学活で話してくれた「出会いで人は変わり、出会いは人を変える」という言葉を送りたいと思います。

一つの出会いは、自分を成長させてくれるチャンスです。皆さんには、これからたくさんの出会いが待っています。その一つ一つが貴重なものであり、自分を成長させてくれるきっかけとなります。一つの出会いでこれからの人生が変わることもあります。

出会いは、良い方にも、悪い方にも人を変えることができます。また、出会いは、誰にでも訪れるものだということを忘れないでください。社会に出ると正解のない問題や課題に向き合っていくことが求められます。人は、決して自分一人の力だけで生きていくことはできません。これからの皆さんに求められる力は、自分で「見て、考え、判断し、行動する」力です。考え方の違う人とも協力して、自分の目標に向かって進んでいかなければなりません。だからこそ、「出会いを大切に」してもらいたいのです。

「出会いを通して、人は成長する。」出会いを大切に、素晴らしい人生を切り開いて行ってくれることを期待しています。どこかで、成長した皆さんとお話しすることを楽しみにしています。

最後に、卒業生保護者の皆様方、お子様の中学校ご卒業、心よりお祝い申し上げます。保護者の皆様には、本校教育に対して多大なるご協力ご支援いただきましたことを心よりお礼申し上げます。至らないところも多々あったかと思いますが、学校に対していつも温かく見守っていただき、また期待して頂いたことで、学校は安心して教育活動を進めることができました。改めて、ここに感謝申し上げます。卒業生並びに保護者の皆様の益々のご健康とご活躍を心からお祈り申し上げます。

令和6年3月

荒川中学校 校長 椿本雅敏



県下書初会中央審査

準特選 1年A組 藤原 理子さん

環境学習発表会に参加してきました。2月4日(日)

学校で取り組んでいる環境に関する取組を発表する機会を頂きました。本校からは、2A井畑良介さん、栗山美佑さん、山本瑠愛さん、2B上村淳月さん、加藤桜世さん、仲岡悠月さんが発表してくれました。放課後にプレゼンの練習を重ね、当日も堂々とした発表で環境賞を頂きました。多くの人前で発表する機会は貴重な経験になったと思います。

